

畑日記

秋葉 健太

今年の梅雨は明けるのが遅く、8月1日になってようやくの梅雨明け。梅雨が長すぎたことにより、花の生育にも少なからず影響があったのは残念だったのですが、そんな中でも良いこともありました。例年と気候が違っていたことが影響してか、いつもだったらもっと早い段階で夏の花に植えかえていたであろう春の花がつい最近まで見頃、もしくはまだまだ見頃な花がいくつかあり、そういった発見があったのは面白かったです。

そうして、ようやくやって来た夏。梅雨が明けた今では連日のように熱中症アラートがテレビで騒がれていたのに、いつも以上に皆の水分補給や休憩などに注意するようになりまして。時には畑班かどうかは関係なく、半日ずつ交代で外作業をするなどの工夫をすることもありました。これも昨年までだったら、あまりなかったことですかね。

園芸の仕事は楽しく、それができるのが葦の会の魅力とは思いますが、やはりここまで暑いと皆大変だろうな、と思います。それでも、仕事の時には真面目に取り組んでくれるのは助かります。

このところ、私は畑で仕事することが減りました。北療育センターでの雑草抜きもありますが、個人の剪定依頼が増えたためです。その依頼主からよく言われることが、「葦の会の人たちはよく働いている」といった内容の声です。今までの業者



さんと比較しての言葉のようですが、そういったストレートな評価を直接頂けるのは、単純に嬉しいものですし、モチベーションの向上につながります。ある時も、同行していた越前屋さんや久保さんが、こちらがお願いする前に「こっちを、もうちょっと綺麗にする」と自ら動く場面もありました。真面目に仕事をして、そのお返しにお金だけでなく、褒めていただける仕事って、世の中に結構あるかもしれないけど、でもやっぱり

りなかなかないことじゃないかな、と思いました。そんな感じで葦の会の仕事ぶりを評価していただいて、口コミで剪定の仕事が増えたのは嬉しいのですが、その反面畑の仕事があまりできなくなったのは、それはそれで大変でした。

全くえらそうに言えることではないのですが、7月後半から8月頭にかけて、何十ケースもの冬の花の種まきが始まるのですが、私は全く種をまいていませんからね。2週間ごとに配達する寄せ植えも、最近では人任せ。そうこうしている内に最初に蒔いた種が成長し、ポットあげで忙しくなる時期が到来（ここには少し関わることができました）。

猛暑の中頑張ってくれるメンバーや職員をはじめ、私は相変わらずいろんな人に助けられてるな〜と、少しずつ涼しくなりはじめ夏が終わるんだなと寂しさを感じながら、そんなことを思いました。

作業所日記

島田 洋一

暑い日が続きますが皆さん、夏バテせずに過ごせていますか？

新型コロナウイルスの感染拡大は依然止まらない状況です。日本国内でも、感染経路が分からない患者が増えてきています。この状況を皆さんは再自覚してください！新型コロナウイルスの危険は無くなっていません！作業所で仕事をする上で マスクの着用、手洗いはだいたい皆さんにも浸透



してきたと思えます。この期間にマスク封入やフェイスシールドの制作といった新型コロナウイルスの感染拡大防止のための商品の仕事に皆さんも関わってきました。世間に誇れるとても大事な仕事内容です。今後も誇りをもってそういった仕事を一つ一つ丁寧にこなしていきましょう。

皆さんと皆さんの家族の健康にフォーカスした話をしますと、新型コロナウイルスの集団感染が広がる条件が見えてきています。集団感染が確認された場に共通するのは、

1 換気の悪い密閉空間であった、2 多くの人が密集していた、3 近距離(互いに手を伸ばしたら届く距離)での会話や発声が行われたという3つの条件が同時に重なった場ということが分かっています。集団感染が発生した屋形船、スポーツジム、音楽ライブハウス、展示商談会、懇親会などは3つの条件が重なっていました。この3つが重なることを避けることが、集団感染を防ぐこととなります。大規模イベントや集会の自粛は、この3つの条件を避けるために重要だと言えます。葦の会でも春祭りは中止しましたね。この3つの条件の発見はとても重要で、たとえば電車のなかでの感染拡大が比較的少ないといわれている理由も読み取れます。満員に近い密集した電車であっても、多くの人々は黙って静かに乗っています。(皆さんも電車やバスはマスクを着用して静かに利用しましょう)そして、特に都市部では、駅数が多く、駅と駅の間隔が短いため、頻りにドアの開閉があるので、定期的に換気されていることとなります。人が集まることを自粛することは、3つの条件が重ならないようにする有効な手段ですが、ずっと続けることはできません。職場や学校を休みにすることの影響はとても大きい。ではどうすればよいのでしょうか？簡単で、しかもお金がかからないシンプルかつ効果的な方法があります。それは『窓を開けること』窓を開けて室内の空気を入れ替えると、新型コロナウイルスが飛ばされていく確率があがります。先日放送されたNHKスペシャル「“パンデミック”との闘い～感染拡大は封じ込められるか～」でも、新型コロナウイルスに見立てた粒子が窓や扉を開けることで流れていく実験の映像が流れていました。夏で当然のことながら暑いですが、職場では必ず窓を開けて、換気扇を回し換気しましょう。家でもこまめに窓を開けましょう。クーラーがついているからといって窓を完全に閉め切ってははいけません。作業所では、常に窓を開けた状態でクーラーをつけています。マスクの着用、手洗い、と一緒に『窓を開けること』を是非習慣にしていきましょう。引き続き皆さんが健康的に仕事ができる事を切に願っています。



< 花売り情報 >

9月 3日(木)・15日(火)・23日(水) 竹ノ塚センター

9月 9日(水) ビッグ・エー花畑店

9月10日(木) ベルクス南花畑店

9月16日(水) ビッグ・エー南花畑店

9月17日(木) ベルクス古千谷店

奥君日記より (2020年8月)



- 3日 今日より作業所の仕事だ。木箱が忙しそう。朝のランポリンは、3密を防ぐため10人だけ行く。新しい先生も入って、楽しい半日だ。そして自宅に「髭剃りとスマホの充電器を忘れた俺！」だらしないと思う。
- 4日 今日の水彩は「道端によく咲いている、何とか？と言う花を書く！」今日の水彩は上手に出来たと思うが、名前のサインが英語だから上手に見えるのかも・・・？ところで俺の髭剃り等は作業所のロッカーにあった。本当に良かったと思う。
- 5日 今日のいきいき音楽小林先生は、サザエさんの色々な歌が良かったと思う。そして「アイスクリームと、かき氷の歌」も良かった。暑いので、食べたくなる歌だった。今コロナウイルス予防で、歌詞カードは全て先生が配り回収している。午後より北療育センターへ草取りに行く。芝生の草取りでは、数分ごとに日陰組・日向組での仕事だった。休憩に飲んだスポーツドリンクは美味しかった。
- 6日 今日は一日、木箱作りだった。給食当番は、久々の田沢さん・俺・増田さんの3人だ。エアロビに間に合うため丁寧に且つ急いだ3人は、上手くエアロビの時間までに終わった。ホームは本間さんで「魚料理」が美味しかった。今ホームでは遅い人から食べ始めているのだが、最後に食べる桑原君はいつもと同じで皆より早く終わる。
- 12日 畑では高島さんが「寒冷紗」を張ってくれた。明日よりお盆休みだが、何処にも行けない休みだろう。
- 18日 今日の水彩は「カボチャ・ピーマン・パプリカ」を書いた。書きやすいが、綺麗な色の出し方が難しかった。実はカボチャ・ピーマンまでは、覚えていたが後の一種類が思い出せず、実は翌日に皆より聞いて書いた日記です。
- 19日 今日天気も良く暑い中、俺と島田さんとで「南花畑ビックビックエーで」花売りだ。この場所は北療育センターの側だ、俺達も大変だが一日北療育センターへ草取りの人も辛い所だと思った。朝の畑では、ビニールハウスの側に大きなテントを張って植え替えの仕事をしていた越前屋さんが印象的だ。小さい体で暑い夏を頑張っている。
- 21日 今日の自転車清掃は「赤い屋根のすがぬまサイクル6台だった」そして、1台だけミニサイクルだけど10万円を超える程の高価な自転車があり「凄いね」と俺達。だけど欲しいとは思わなかった。幾らで売るのだろうか？
- 22日 土曜の今日は、「セット物の内職、お茶の箱入れの内職等をする。何か楽しかった今日だ、多分樽崎さんとやった内職だからかも知れない。それにしても、鄭君の仕事は早い。
- 24日 まだ今週も作業所の俺達だ。仕事は「ネギ箱作り。底板がないので皆で枠作りだった。村田さんが打ってくれる釘は、「とても打ちやすい」それにしても、沢山積まれた「ネギ枠」だ。村田さん曰く「こんなのは皆で底打ちをやれば直ぐに終わる！！」問題は、西澤さんが材料を切ってくれているのかどうかだ。



カルチャー教室 今後の予定

音楽	9月はお休みです	さをり	9月 5日・19日
陶芸	9月12日・26日	習字	9月10日・24日
水彩画	9月11日・25日		

あしの家だより



【西新井ホーム】

土屋 裕美

8月に入り梅雨も明け、ホームの近くの公園でも蝉の大合唱を聴くようになりました。暑い日が続き、仁さんはどこで水浴びをしてきたのかと思うぐらいの全身汗びしょりで帰ってきたり、大根さんは肩で息をされるほど。雨の日も暑い日も歩いて通勤をしている皆さんは、本当にすごく頑張っているなと思います。



夏休み帰省するメンバーは帰省を楽しみにして、奥さんは忘れ物がないか念入りにチェックされていたり、勝さんはいつも以上に約束事を確認していたり、和也さん&明久さんはいつお母さんのところ行く？と何度も聞かれたり、裕さんは自宅戻りの度に服が新しくなっていたりと思い思いの夏を過ごされました。

今年はコロナの影響などもあり、いつもとは少し違う経験の夏を迎えています。暑さにもコロナにも負けず、元気いっぱい楽しく過ごして欲しいなと思います。

【西伊興ホーム】

佐久間 直子

梅雨開けが遅く、やっと梅雨が明けたと思ったら猛暑となり毎日35℃前後。メンバーさんも朝のニュースを聞いて今日も暑いねと話しながら、コップ1杯の水分補給と女性は日焼け止めクリームを塗ってから作業所に行かれています。楽しみな夏休み、今年は特別な夏！本当に何処にも行けず、毎年帰省している安部さん増田さんも帰省しない事を決断して、ホームで過ごしました。増田さんは田沢さんがきれいに塗っているのを見て、大人の塗り絵に挑戦。お休み中で1冊塗り終わったようですが、とっても綺麗に塗れています。また新しいシリーズを購入する予定です。安部さんはお姉さんのお誕生日プレゼントをファッションセンターしまむらで買って、ラッピングもしてもらい宅急便で送るまで、全部一人で行なってきました。数日後、お姉さんから連絡が入り無事に届いたようです。何をあげたのかな？田沢さんも塗り絵をしながら、CDを聴いています。80年代の曲を聴いていました。子供のころお母さんと一緒に聞いていたのでしょうか？松本さんはお家でお母さんと早朝のウォーキングをしていたようです。花田さんはお墓参りに行き電車も見て来たようです。青木さんは買い物に行って自宅で美味しい物を食べたようです。来年は皆で楽しい夏休みを過ごせるといいですね。これからも日々の手洗い、うがい、規則正しい生活を続けて、健康に過ごしていきたいです。



～障がい者施設地域交流展示会を終えて～

8月18日(火)～21日(金)まで、足立区役所1Fアトリウムで、「第12回 障がい者施設地域交流展示会」を開催しました。今回は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、例年行っていた実演コーナーや自主製品のプレゼントは行いませんでした。いつものようにお友達同士で…といった賑やかなご来場はありませんでしたが、一人ひとりの方が、ゆっくり、しっかりと見てくださっていたのが印象的でした。今年は各施設で行っている行事もすべて中止、区内の様々なイベントも中止になり、施設での活動や自主製品等を皆様に広く知って頂く機会がなかったため、今回多くの方々のご協力のおかげで開催できたことは大変有意義だったと思います。

編集後記

8月が終わってしまいました。連日猛暑に見舞われましたが「夏の思い出」が無い…。これは、こんな歳の？私でも思うのだから、子供たちや若い人たちはなおさらでしょうね。さて、月末に何とも言いようのないニュースが。首相退陣。今ですか!?という思いと、やっとですか!?という…。問題山積。考えよう自分たちはどうありたいかを。まだまだ残暑が続きます。コロナ感染も、油断禁物。もうひと踏ん張り！であってほしいですね。(池田)